

2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月15日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demae-can.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢野 哲
 問合せ先責任者(役職名) 財務経理部長 (氏名) 小林 元樹 (TEL) 03-6699-0800
 定時株主総会開催予定日 2026年11月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年11月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績(2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	39,057	△1.7	△8,288	—	△8,235	—	△8,246	—
2025年8月期	39,721	△21.2	△4,923	—	△4,968	—	△4,971	—

(注) 包括利益 2026年8月期 △8,246百万円(—%) 2025年8月期 △4,971百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	△74.02	—	△33.7	△23.5	△21.2
2025年8月期	△43.62	—	△15.3	△11.4	△12.4

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	31,221	20,431	65.3	183.09
2025年8月期	38,848	28,625	73.7	256.62

(参考) 自己資本 2026年8月期 20,378百万円 2025年8月期 28,625百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	△8,922	16	4	19,633
2025年8月期	△4,970	△2	△1,002	28,536

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

(注) 2027年8月期(予想) 配当金につきましては無配とさせていただきます。

3. 2027年8月期第1四半期の連結業績予想(2026年9月1日～2026年11月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	
	百万円	%
第1四半期	11,000 ～11,500	122.4 ～127.9

(注) 当社は通期の業績予想に代えて、第1四半期の業績予想をレンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年8月期	112,380,430株	2025年8月期	112,380,430株
2026年8月期	1,073,582株	2025年8月期	832,299株
2026年8月期	111,407,176株	2025年8月期	113,987,748株

(参考) 個別業績の概要

2026年8月期の個別業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	39,057	△1.7	△8,256	—	△8,205	—	△8,214	—
2025年8月期	39,721	△21.2	△4,906	—	△4,964	—	△4,975	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	△73.74	—
2025年8月期	△43.65	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	31,317	20,574	65.5	184.37
2025年8月期	38,906	28,736	73.9	257.62

(参考) 自己資本 2026年8月期 20,521百万円 2025年8月期 28,736百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2026年10月15日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催と同時に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度につきまして、当社ミッション「テクノロジーで時間価値を高める」、ビジョン「地域の人々の幸せをつなぐライフインフラ」の達成に向け、フードデリバリー市場の成長や競争力向上を重点課題とし、加盟店ラインナップの拡充や配達時間の精度向上、並びに配達・カスタマーサービスの品質等サービス体験の改善を積み重ねることで、ユーザー、配達員、加盟店の満足度向上・定着化を図ってきました。

今後も、多くのユーザー、配達員、加盟店から「選ばれるプラットフォーム」となるために、日々ユーザー体験を向上させ、「デリバリーの日常化」を実現してまいります。

その結果、当連結会計年度の売上高は39,057百万円（前期比1.7%減）、営業損失は8,288百万円（前期は4,923百万円の営業損失）、経常損失は8,235百万円（前期は4,968百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は8,246百万円（前期は4,971百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

なお、当社グループは「出前館事業」の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で7,599百万円減少し、30,840百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が8,902百万円減少し、未収入金が1,045百万円増加したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で27百万円減少し、380百万円となりました。主な要因は、差入保証金が25百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で7,626百万円減少し、31,221百万円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で592百万円増加し、10,629百万円となりました。主な要因は、未払金が724百万円増加したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で25百万円減少し、160百万円となりました。主な要因は、その他が25百万円減少したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で567百万円増加し、10,789百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で8,193百万円減少し、20,431百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失8,246百万円により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、19,633百万円となり、前連結会計年度末と比較して8,902百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、8,922百万円（前連結会計年度は4,970百万円の減少）となりました。主な増減の内訳は、税金等調整前当期純損失8,235百万円、未収入金の増加1,045百万円、未払金の増加717百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、16百万円（前連結会計年度は2百万円の減少）となりました。主な増減の内訳は、資産除去債務の履行による支出14百万円、敷金及び保証金の回収による収入32百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、4百万円（前連結会計年度は1,002百万円の減少）となりました。主な増減の内訳は、新株予約権発行による収入10百万円、その他の支出6百万円等によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
自己資本比率	78.4	77.3	76.2	73.7	65.3
時価ベースの自己資本比率	113.4	97.3	68.5	48.2	64.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

・自己資本比率：自己資本/総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社が属するフードデリバリー業界は、消費者需要や競争環境等マクロ環境の動向などにより、事業環境が短期間で大きく変動する特徴があります。このため、業績予想の精度と有用性を確保する観点から、当社は通期の業績予想に代えて、四半期ごとに連結業績予想を開示する方針としております。

2027年8月期第1四半期の連結業績予想は、現時点で想定しうる範囲内において、売上高を110億円～115億円（前年同期比122%～128%）、営業利益は黒字を見込んでおります。

なお、記載した予想数値および見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績等は、今後の事業環境やその他の不確定要素により大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、積極的な事業展開のもと、経営基盤の強化、経営効率の改善を図ることにより企業価値を高め、株主の皆様に対して継続的かつ安定的に利益還元を図ることを基本方針としております。将来に向けた積極的な投資を行いつつも、配当性向は30%を目安とし、安定的に継続して実施することを目指しております。

当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を基本的な方針としております。なお、会社の業績に応じた株主の皆様への利益還元を柔軟に実施するため、当社は「毎年2月末日を基準日として、取締役会の決議をもって、株主または登録株式質権者に対し、中間配当として剰余金の配当を行うことができる」旨を定款に定めており、これらの剰余金の配当については、取締役会を決定機関としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの多くの利害関係者は、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,536	19,633
売掛金	80	105
未収入金	9,337	10,382
その他	512	730
貸倒引当金	△27	△11
流動資産合計	38,440	30,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2	—
減価償却累計額	△2	—
建物及び構築物（純額）	—	—
その他	5	2
減価償却累計額	△5	△2
その他（純額）	—	—
有形固定資産合計	—	—
投資その他の資産		
差入保証金	401	375
繰延税金資産	7	5
その他	1	0
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	408	380
固定資産合計	408	380
資産合計	38,848	31,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
契約負債	16	12
未払金	9,734	10,459
未払法人税等	11	9
預り金	42	37
賞与引当金	84	82
その他	145	27
流動負債合計	10,036	10,629
固定負債		
その他	186	160
固定負債合計	186	160
負債合計	10,222	10,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	49,324	49,324
利益剰余金	△20,637	△28,884
自己株式	△161	△161
株主資本合計	28,625	20,378
新株予約権	—	52
純資産合計	28,625	20,431
負債純資産合計	38,848	31,221

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	39,721	39,057
売上原価	35,150	38,420
売上総利益	4,570	637
販売費及び一般管理費	9,493	8,925
営業損失(△)	△4,923	△8,288
営業外収益		
受取利息	39	52
助成金収入	13	0
その他	8	6
営業外収益合計	61	58
営業外費用		
自己株式取得費用	66	—
損害賠償金	35	1
支払利息	0	0
為替差損	0	—
株式発行費用	—	2
その他	3	0
営業外費用合計	106	5
経常損失(△)	△4,968	△8,235
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
税金等調整前当期純損失(△)	△4,967	△8,235
法人税、住民税及び事業税	11	9
法人税等調整額	△7	1
法人税等合計	3	11
当期純損失(△)	△4,971	△8,246
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△4,971	△8,246

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純損失 (△)	△4,971	△8,246
包括利益	△4,971	△8,246
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△4,971	△8,246
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	54,166	△15,665	△2,053	36,548
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△4,971		△4,971
自己株式の取得				△2,950	△2,950
自己株式の消却		△4,842		4,842	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△4,842	△4,971	1,891	△7,922
当期末残高	100	49,324	△20,637	△161	28,625

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	—	—	—	36,548
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△4,971
自己株式の取得				△2,950
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	△7,922
当期末残高	—	—	—	28,625

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	49,324	△20,637	△161	28,625
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△8,246		△8,246
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	△8,246	△0	△8,246
当期末残高	100	49,324	△28,884	△161	20,378

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	—	—	—	28,625
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△8,246
自己株式の取得				△0
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	52	52
当期変動額合計	—	—	52	△8,193
当期末残高	—	—	52	20,431

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△4,967	△8,235
株式報酬費用	142	67
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△31	△15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	△2
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	△300	—
受取利息及び受取配当金	△39	△52
支払利息	0	0
助成金収入	△13	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	26	△24
前払費用の増減額 (△は増加)	△35	△163
未収入金の増減額 (△は増加)	1,068	△1,045
未払金の増減額 (△は減少)	△604	717
その他	△287	△216
小計	△5,020	△8,969
利息及び配当金の受取額	39	52
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△12	△11
法人税等の還付額	10	5
助成金の受取額	13	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,970	△8,922
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の売却による収入	3	—
資産除去債務の履行による支出	—	△14
敷金及び保証金の差入による支出	△7	△2
敷金及び保証金の回収による収入	1	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	16
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,950	△0
新株予約権の発行による収入	—	10
預け金の増減額 (△は増加)	1,950	—
その他	△2	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,002	4
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,975	△8,902
現金及び現金同等物の期首残高	34,511	28,536
現金及び現金同等物の期末残高	28,536	19,633

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	出前館事業	合計
出前館サービス利用料	39,636	39,636
その他	84	84

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	出前館事業	合計
出前館サービス利用料	38,809	38,809
その他	247	247

(注) 当連結会計年度より、現在の管理区分と収益の区分の計上内容をより整合するように整理したことに伴って「出前館サービス利用料」及び「その他」を構成していた収益の区分の見直しをしております。これに伴い、前連結会計年度の顧客との契約から生じる収益を分解した情報についても、見直し後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	256.62円	183.09円
1株当たり当期純損失(△)	△43.62円	△74.02円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	28,625	20,431
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	52
(うち新株予約権(百万円))	(一)	(52)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	28,625	20,378
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	111,548,131	111,306,848

3. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△4,971	△8,246
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△4,971	△8,246
期中平均株式数(株)	113,987,748	111,407,176
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	(一)	(一)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	第14回新株予約権 28,460個 (普通株式2,846,000株) 第15回新株予約権 22,080個 (普通株式2,208,000株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。